

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座VI Care Staff Beginner's Training lecture VI			ナンバリング No.	I4-009		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。又は福祉棟3階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>「介護職員初任者研修講座VI」(こころとからだのしくみと生活支援技術、認知症の理解、障害の理解)では、利用者個々のニーズを的確に把握し、求められる支援を導き実践するための思考過程である「介護過程」を学ぶ。また、認知症と障害を理解するための学習を行う。</p> <p>①介護過程を行う目的と、介護過程の構成要素を列挙できるようにする。 ②認知症を引き起こす疾患を、列挙できるようにする。 ③障害の概念とICFを説明できるようにする。</p>						
授業の方法	「介護過程」は講義と演習の組み合わせで行う。はじめに介護過程の構成要素や一連の流れを説明し、事例を使って介護計画を立案できるようにグループワークを行う。「認知症の理解」及び「障害の理解」は講義中心に進める。						
学習成果	L01						
	L02	障害の概念を理解し、事例をICFに落とし込むことができる。					
	L03	介護過程を展開し、個別援助計画の立案ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	介護過程の展開における個別援助計画書については、模範解答を示し、授業の中で解説をおこない、各自にフィードバックをおこなう。						
教科書/ 参考図書	介護職員初任者研修テキスト/中央法規(介護職員初任者研修 I と同じ) アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック/みらい						
履修上の留意点 やルール等	<p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p> <p>講義・グループワーク演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止とする。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。</p>						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	評価基準 S は、授業の準備(テキスト、配布資料等)が整い、授業に集中している。ディスカッション場面では他者の話に耳を傾けつつ、自らの意見も積極的に述べるができる。			20	
レポート/作品	介護過程の展開で評価する。アセスメントから課題を抽出し、根拠に基づいた個別援助計画の立案がなされている事を評価の視点とする。			20	
発表					
小テスト					
試験	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。		60		
その他					
合 計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 認知症の理解① 認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念
	事前・事後学習	認知症に関する新聞記事を1点切り抜いて持ってくる
2	授業内容	認知症の理解② 医学的側面から見た認知症の基礎知識(脳のしくみ、記憶のしくみ)
	事前・事後学習	テキスト1 P312～P319を読み、重要個所にアンダーラインを引く
3	授業内容	認知症の理解③ 医学的側面から見た認知症の基礎知識(認知症を引き起こす疾患とその病態、ケア)
	事前・事後学習	テキスト1 P320～P335を読み、アルツハイマー型認知症と血管性認知症の違いをまとめる
4	授業内容	認知症の理解④ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(生活障害、心理・行動の特徴)
	事前・事後学習	テキスト1 P336～P345を読み、認知症の生活障害に関わるキーワードを列挙する
5	授業内容	認知症の理解⑤ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(利用者への対応、家族への支援)
	事前・事後学習	テキスト1 P346～P357を読んで、自身が認知症高齢者を介護する立場に立った時を想像し、気持ちを記入する
6	授業内容	障害の理解① 障害の基礎的理解(障害の概念とICF、障害者福祉の基本理念)・家族の心理、かかわり支援の理解
	事前・事後学習	障害の概念及び家族の心理、かかわり支援の理解について調べてまとめる。
7	授業内容	障害の理解② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識 ① 身体障害
	事前・事後学習	身体障害者手帳制度について要約する。
8	授業内容	障害の理解③ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識 ② 身体障害
	事前・事後学習	身体障害者が利用できる福祉サービスについて調べてまとめる。
9	授業内容	障害の理解④ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識 ③ 知的障害
	事前・事後学習	知的障害者の手帳について調べてまとめる。
10	授業内容	障害の理解⑤ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識 ④ 知的障害、精神障害
	事前・事後学習	知的障害者が利用できる福祉サービスについて調べてまとめる。
11	授業内容	障害の理解⑥ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識 ⑤ 精神障害
	事前・事後学習	精神障害者が罹患する病気について調べてまとめる。
12	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解① 介護過程の目的 構成要素・チームアプローチ
	事前・事後学習	介護過程の一連の流れについて調べてまとめる。
13	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解② 介護過程の展開 【演習】
	事前・事後学習	介護過程を展開する事例について読み、アセスメントをおこないまとめる。
14	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解③ 介護過程の展開 【演習】
	事前・事後学習	介護過程を展開し、個別援助計画を立案する。
15	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解④ 介護過程の展開 【演習】<課題提出 授業終了時>
	事前・事後学習	介護過程で扱った事例について、モニタリングをおこなう。